

独立行政法人日本貿易保険 決算報告書

(2015年4月1日から2016年3月31日まで)

(単位:百万円)

区分	予算額(A)	決算額(B)	差額(B-A)	備考
収入				
業務収入	17,491	18,381	890	
正味収入保険料	11,621	12,461	840	(注1)
正味回収金	2,000	25	△ 1,975	(注2)
受取利息	3,870	5,507	1,637	(注3)
その他業務収入	-	388	388	
被出資債権からの回収金	7,619	14,619	7,000	(注4)
有価証券の償還	19,737	8,000	△ 11,737	(注5)
短期借入金	-	-	-	
前年度繰越金	47,494	47,494	0	
計	92,341	88,494	△ 3,847	
支出				
業務支出	25,347	7,614	△ 17,733	
正味支払保険金	19,544	2,239	△ 17,305	(注6)
人件費	1,247	1,432	185	
国庫納付金	-	-	-	
その他業務支出	4,556	3,943	△ 613	(注7)
投資支出	1,785	3,136	1,351	
システム開発等	1,715	2,481	766	(注8)
その他投資支出	70	655	585	(注9)
有価証券の取得	-	69,806	69,806	(注5)
短期借入金返済	-	-	-	
その他の支出	-	-	-	
翌年度繰越金	65,209	15,823	△ 49,386	
予算差異	-	△ 7,885	△ 7,885	
計	92,341	88,494	△ 3,847	

(注)金額は、百万円未満の端数を四捨五入して表示しております。

【予算額との差額の主な要因は、以下の通りです。】

- (注1) 当初予定を上回る保険契約高となったことから、予算額を大幅に上回りました。
- (注2) 支払保険金が少なかった事等により、予算額を大幅に下回りました。
- (注3) 保有有価証券残高が増えたことから、予算額を上回りました。
- (注4) 回収金から被保険者に配分する利息が減ったことから、予算額を大幅に上回りました。
- (注5) 国債の買い入れ等により、有価証券の取得及び償還の額は予算額を大幅に上回りました。
- (注6) 保険事故が少なかったことから、予算額を大幅に下回りました。
- (注7) 事業費及び一般管理費の減少を図り、その他業務支出は予算額を下回りました。
- (注8) システム開発案件及びシステム基盤更改案件等への投資支出により、予算額を大幅に上回りました。
- (注9) 事務室内の内装工事案件及びIT環境整備案件等への投資支出により、予算額を大幅に上回りました。